

第11回

湖南市の小さな詩人たち

子どもたちの言語力や表現力の育成をめざし、市内の全小・中学校で表現活動に取り組みました。審査は、野呂昶さん(詩人)と平賀胤壽さん(前朝日新聞滋賀柳壇選者)にお願いしました。


主催:湖南市教育委員会 協賛:水口ライオンズクラブ

～子どもたちが創った 詩・俳句・川柳・短歌～


☎教育研究所(西庁舎) ☎77・7052 ☎77・4101

五七五部門

☆最優秀賞
〔小学校四～六年生の部〕
菩提寺小学校六年 内田 ひより
かえりみち
おちばと木の実
見つけては
まっぴらまっぴら
いそいでひろう





☆最優秀賞
〔小学校一～三年生の部〕
下田小学校二年 高田 悠貴
夏の陽が
海でおかおを
あらったよ




詩部門


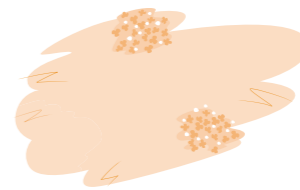
☆最優秀賞
〔小学校一～三年生の部〕
三雲小学校二年 宮島 佳央
ランドセル
学校につれて行って。
せなかにせおって。
たくさんいっしょにいて。
そつぎようなんてしないで。
もっといっしょにいて。
やっとあさがきた。
きょうもせなかで
いっしょにいさせて。

☆最優秀賞
〔中学校の部〕
日枝中学校二年 砂田 妃菜
校庭で
遊ぶ男子の
あの声も
きこえぬ窓辺の
本読む少女



☆最優秀賞
〔小学校四～六年生の部〕
菩提寺北小学校六年 梅原 瑛美華
冬
冬は、山がねむる時
川がねむる時
植物がねむる時
動物がねむる時
冬は、雪がうまれる時
しもがうまれる時
氷がうまれる時
小さな楽しさがうまれる時
冬は、ねむりと
物のうまれる季節


五七五部門

○優秀賞
〔小学校四～六年生の部〕
鎌倉タリタ聖美(石部南小学校四年)
野島 彩心(石部南小学校六年)
○優秀賞
〔中学校の部〕
森地 董(石部中学校二年)
小林 美月(日枝中学校三年)

詩部門

○優秀賞
〔小学校一～三年生の部〕
中川茉莉亜(三雲東小学校二年)
村山 十愛(菩提寺北小学校三年)
○優秀賞
〔小学校四～六年生の部〕
松嶋 粹楽(菩提寺北小学校六年)
奥村 樹花(菩提寺小学校六年)
○優秀賞
〔中学校の部〕
村田 優莉(甲西北中学校一年)
澤井 花音(甲西北中学校一年)

☆最優秀賞
〔中学校の部〕
石部中学校二年 大継 真由
街・坂・波
それは、果てしなく深い海
それは、限りなく広い空
それは、とても遠く遠く星
それは、気づかないほど小さな花
隣の家の夫婦げんか
妹の手をひく男の子
それを見守る車
路地裏を通る猫
誰かを待つ君
変わる信号
変わる風景
変わらぬ私
私の未来となり
ちりになり
埃と化す
それほどのことが、
たったそれだけの日常が
世界を創るのだと思うと
とても不満で
なんだか幸せに感じる

